



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1976号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2039回例会

2014.9.4晴

司会

古川喜仁君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 三田明宏君

会長挨拶

会長 諏訪部照久君

皆さんこんにちは。今日は例会場を変更して米山梅吉記念館で第一例会を行います。さて先日、米山梅吉記念館が法人である事を知らないロータリアンが多いと、岡本ガバナーが話された事を思い出し、この機会にその理由が知りたく、調べてみました。多くのロータリアンは、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会と同じ組織と勘違いしているのではないのでしょうか。しかし公称の米山梅吉記念館は建物ではなく、公益財団法人米山梅吉記念館という別法人として登録されています。まるで、国際ロータリーとロータリー財団(正式名称は国際ロータリーのロータリー財団)の公称が似ていて、同じ組織だと勘違いしているのと一緒でしょうか。ただし、この二つの公益財団法人の場合は格差が大きくなり過ぎました。まず(財)ロータリー米山記念奨学会は1952年に東京R・Cが米山奨学制度を設立し、1957年に国内全クラブの合同事業として結成され、1967年に文部省の認可を得て財団法人として設立されました。そして現在(12~13)の奨学生数は700名、事業費は13.6億と国内では民間最大の国際奨学事業となっていて、世界で121国17,545人の奨学生を支援してきました。一方、(財)米山梅吉記念館は1969年に財団法人として、全国及び地区の諸先輩の協力を得て旧館を建築し、1998年に新築して、現在に至っています。この財団の行政庁は静岡県で事業概要は、米山梅吉記念館(建物)の設置と、その思想の普及、米山文庫(図書室)の設置となっています。現在の活動状況は春季と秋季の例祭が行われています。その事業報告書を公開してはいますが、(財)ロータリー米山記念奨学会とは異なり、広く知られてはいません。よって、格差が大きい事から(財)米山梅吉記念

館はいつの間にか忘れられ、建物として認知される様になった事が理由なのではないでしょうか。いずれにしろ運営費や会館の修繕費は寄付によって成り立っていますので、地元のロータリークラブとしては更なる寄付をお願いしまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 池田義教さん(日本盲導犬協会)
盲導犬アッサム君

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修出席率
前々回	39/46	84.78%	45/46	97.83%
今回	35/43	81.40%	会員総数	50名

欠席者 遠藤(正)君、大畑君、川名君、窪田君、長田君、橋本君、前田(房)君、米山君

幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①本日は、社会奉仕委員会担当でクラブフォーラム(新世代月間)盲導犬育成事業についての講話
- ②9月11日(木)(夜間親睦例会)も例会場変更(松韻)3Dプリンターの実演。
- ③9月13日(土)は米山記念館の秋季例祭(14:00~)。出欠表を回します(メイクアップ扱い)。
- ④9月20日(土)に、地区の富士山環境保全活動が富士宮・富士山麓で開催、社会奉仕委員会の藤江委員長、石井(良)副委員長出席
- ⑤小野会員が例会に先立ち、米山梅吉翁のお墓にお花とお線香。例会後都合のつく方は墓参を。

2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ロータリーに輝きを

スマイルボックス

◆伊丹君、鈴木郁夫先生、今日はお休みのところ診療下さいまして誠に有難うございました。

理事会

〈報告事項〉

- ①澤村康子さんの退会届を受理。7月末日付。
- ②広島豪雨災害への義捐金の協力を、9月11日、18日の例会でお願いする。
- ③献血時の残余の景品、トイレット・ペーパーを三島市に寄付9月11日に諏訪部会長、藤江委員長が豊岡市長へ寄贈
- ④世界大会の案内。2015年6月6日～9日、サンパウロにて。

ROTARY NEWS

ジャマイカの小学校。11歳のジョーダン君が、ある子犬の話のクラスで発表しています。その子犬は、配水管に落ちて衰弱していたとき、ジョーダン君の家族に助けられました。その後、浜辺で遊べるほど元気になり、やがて大きな犬に...この話は、7～11歳の生徒たちによる児童作文コンテストに寄せられた話です。コンテストは、カリブ地域のロータリーEクラブが中心となり、周辺の10カ国が協力して主催されました。児童作文コンテストのアイデアを思いついたロータリー会員は、英国のロータリークラブが主催した青少年プログラムからヒントを得ました。コンテスト規約や公募方法を学び、これならインターネットで活動するEクラブにもできると思ったそうです。その後、地元クラブの連携を駆使して、多くの小学校から作品を募りました。2013年の第1回コンテストでは200の応募があり、2014年には300名のちびっこライターが参加。協力クラブごとに3つの地域賞を選び、主催者のEクラブが10の優秀作品を選びました。参加者には図書券をプレゼントし、さらなる読書を応援します。優秀作品は、"The Butterfly StoryBook" という一冊の本となって出版されました。また、ハイチのボランティア学生によってフランス語とクレオール語に翻訳され、近くスペイン語にも翻訳される予定です。主催者のEクラブは、子どもたちの読み書き支援に役立ててもらおうと、この本をジャマイカの識字協会に寄贈。識字協会は、これのお返しにと、カリブ諸国でのコンテスト普及を応援することに同意しました。また、バージン諸島のロータリークラブが地元での識字支援に活用するために500部を購入したほか、カナダ、エチオピア、ハイチ、インド、英国の小学校への寄贈用にさらに多くを購入しました。この本は、Amazon.comで購入できます。収益は読み書き支援の活動に充てられ、図書館への寄贈にも最適です。

卓話

新世代月間

石井良衛君

今月は新世代月間です。社会奉仕委員会では、今年度の推進事業に献血運動、富士山の緑化運動、見晴学園のフェスティバルの手伝いの他、新規の事業として、盲導犬の育成事業に取り組んでいきたいと思っています。従来の寄付活動だけでなく、盲導犬候補の仔犬の飼育(パピーウォーカー)、引退した盲導犬の受け入れなどにも会員の皆様と一緒に協力していくことができればと思います。

先日のニュースで、活動中の盲導犬が、心無い人に刺されるという事件がありました。これはとても悲しい事です。盲導犬は仔犬の時に可愛がられることで、人への信頼を深め、人の為に頑張りたいという気持ちが芽生えると言います。それはきっと我々人間にも当てはまることかもしれません。やさしさの中で育ってきた人は、それよりも大きなやさしさで人に接することができるのだと思います。この事業によってお子さんや、お孫さんが命の大切さや優しさを知る社会づくりに貢献できればと思います。

本日は日本盲導犬協会の池田様と盲導犬のアッサム君をお招きしています。会員の皆様に盲導犬の現状をレクチャーしていただきます。

また、今年度は正確な日取り、場所は未定ですが、2月あたりに盲導犬のデモンストレーションを行いたいと考えています。会員の皆様だけでなく、多くの方にこの事業を知っていただくために社会奉仕委員会は活動していきたいと思っています。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



(週報担当:坂本和也)